

## 報告

## 世界天文年 全国同時七夕講演会の報告

## ～国立天文台の場合～

縣 秀彦（国立天文台天文情報センター）

## 1. 星と森と絵本の家

## 世界天文年の七夕に開館！

七夕の日、国立天文台三鷹の構内に「三鷹市 星と森と絵本の家」[1]が開館しました。ここは子どもたちが宇宙や自然に関する絵本に出会う場です。さらに、絵本と台内の自然環境を媒体として子どもたちと親・祖父母世代の市民にも宇宙・自然・科学への知的好奇心を育む場となることを目指しています。



図1 星と森と絵本の家

8/26、伝統的七夕イベントのようす

1915(大正4)年建築の国立天文台「旧1号官舎」は三鷹市に無償譲渡されました。三鷹市はいったん解体し、現在の建築基準法に沿うように復元・再築を行ったうえで、新たに管理棟を併設し、絵本の家として整備したのです。7月7日には開館記念式典の後、全国同時七夕講演会参加イベントとして、観山正見国立天文台長による「七夕のお話し」と題する子どもたち向けのお話し会が開かれました。プロジェクターもPCもない畳みの部屋

に30名が集まり、観山台長はALMAサイトで撮影された素敵な天の川の写真を見せながら宇宙の謎解きの楽しさを熱く語ってくれました。



図2 開館記念台長講話（撮影：高田裕行）

「天の川のひみつを暴くのは君たちかもしれない！」

## 2. 三鷹ネットワーク大学でも七夕イベント

それに先立ち、7月5日には、JR三鷹駅南口の三鷹ネットワーク大学[2]を会場に「七夕に星空を見上げてみよう～科学で語る七夕の物語～」と題して、縣が市民向けの講演をいたしました。



図3 三鷹ネットワーク大学での講演会

日曜日の午前中にも関わらず、事前申込者48名中47名が参加という高い関心度で、うち40名の方がアンケートに回答してくれましたので、その結果の一部を下に示します。

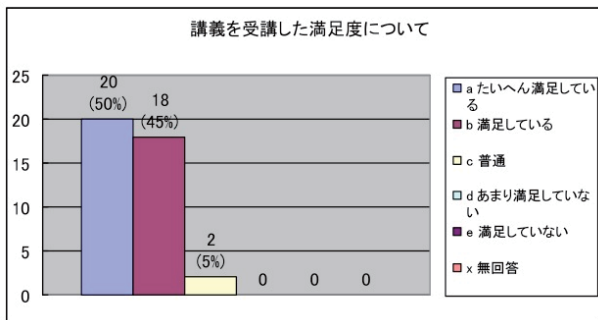
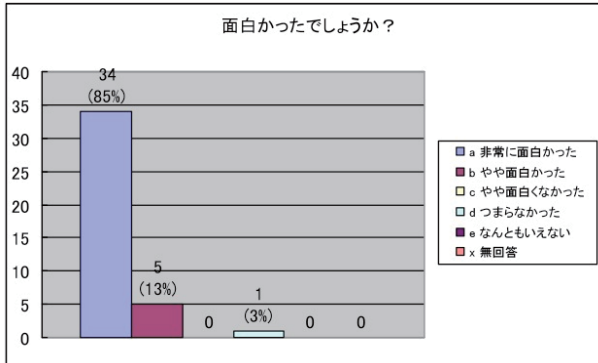


図4 アンケート結果

織姫、彦星の話から始まって地上から見える天の川を紹介した後、Mitaka[3]を用いて地球を出発し天の川の構造を説明しました。いま、天文学では何が面白いのかを中心に語ったのですが、質疑応答の時間では、市民のお一人と、生命は「進化」している or していないで大議論となりました。生物におけるDNAの異変を「進化」と呼ぶのはおかしいというのがその方の言い分で、人に何かを伝えようとする上で言葉の使い方は細かいところまで気を配らないといけないと実感する出来事でした。七夕の話ということで、科学好きとは限らない多様な皆さんが参加してくださり、全体としてはうちとけた雰囲気を楽し

く講演会が出来てとても良かったと思っています。



図5 七夕飾りの前で一星に願いをー

補足：

- [1] 三鷹市 星と森と絵本の家

場所：三鷹市大沢 2-21-3

国立天文台正門より入場可

電話：0422-39-3401

開館時間：10:00 - 17:00

(入館は 16:30 までに、定休日：火曜日)

入館料：無料

URL：<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/ehon/>

- [2] 三鷹ネットワーク大学 アストロノミー・

パブのほかにも天文講座盛りだくさん

場所：JR 三鷹駅南口協同ビル3階

URL：<http://www.mitaka-univ.org/>

- [3] Mitaka 宇宙を自由に旅できる国立天文台

4D2Uの人気シミュレーションソフト

すでに累計 50 万本以上ダウンロード(無料)

URL：<http://4d2u.nao.ac.jp/html/program/mitaka/>